



---

Buddycom  
機能ユーザーガイド  
データ転送機能編 v1.0.1

---



※日々バージョンアップを行っているため、本ユーザーガイド記載のアプリ画面と実際のアプリ画面が異なる場合があります。

## 改訂履歴

日付	バージョン	変更箇所	変更内容
2021/12/27	1.0.0		初版
2025/8/27	1.0.1	P4 2.2.3	テキストの検索条件に「部分一致」を追加しました。
		P6 2.2.5	転送メッセージテンプレートの説明を追加しました。

## 目次

1. 機能.....	1
2. データ転送の設定方法 .....	2
2.1. Buddycom 管理コンソールにログインします。 .....	2
2.2. AI・アプリ連携の設定 .....	2
2.2.1. 項目について .....	3
2.2.2. 転送条件の設定について .....	4
2.2.3. テキストの検索条件の設定について .....	4
2.2.4. 転送するトークグループ ID の設定について .....	5
2.2.5. 転送メッセージテンプレートの設定について .....	6
2.3. グループへの割り当て .....	7
2.3.1. グループの編集画面から割り当て .....	7
2.3.2. AI・アプリ連携画面から割り当て .....	8
3. 制限事項/注意事項 .....	9

# 1. 機能

※この機能は、Talk Enterprise プラン、Livecast Enterprise プランで利用できます。

転送設定をしたグループに対して、条件に一致するデータを転送できる機能です。

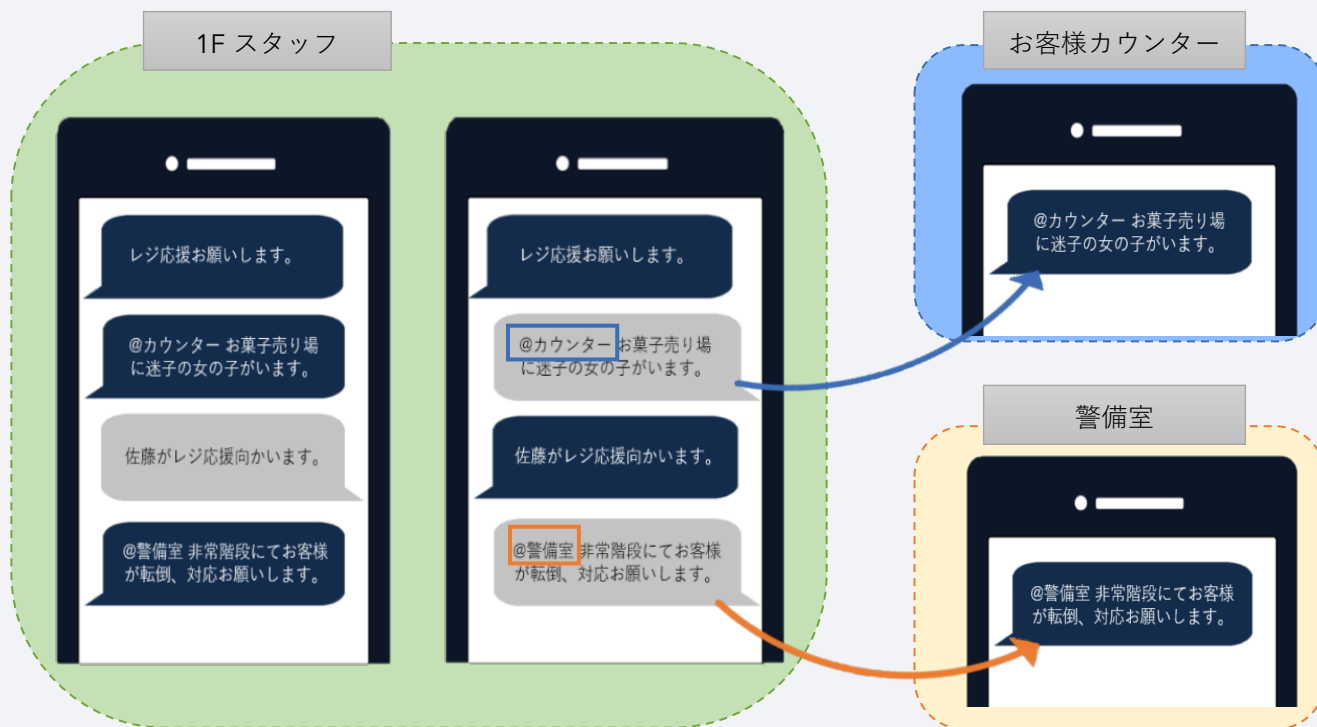
転送可能なデータは下表の通りです。

転送できるデータ	転送できないデータ
テキスト	音声データ
音声テキスト化データ	翻訳データ
サウンド	ライブキャスト動画
アラート	画像
メロディースタンプ	先頭の文字が「/」（半角スラッシュ）のテキスト
定型文	

データ転送機能は、通常業務は各グループ内で通話を行い、一部の情報のみ担当者と共有したいなど、特定のデータを Buddycom アプリの「話す」設定をしているグループとは異なる特定のグループに転送したい場合に利用します。

例えば、「お客様カウンター」グループに転送したい際のキーワード(転送条件)を「@カウンター」にすれば、「@カウンター」から始まるテキストを送信した際にテキストデータが「お客様カウンター」グループに自動転送されます。

データ転送設定を複数行うことで、キーワード毎に異なるグループに転送することができます。



## 2. データ転送の設定方法

Buddycom 管理コンソールにて、データ転送の設定を行います。

### 2.1. Buddycom 管理コンソールにログインします。

<https://console.buddycom.net>

Buddycom 管理コンソールにて「管理者ユーザー」でログインしてください。

「管理者ユーザー」のログイン ID、パスワード情報は、テナント開設時のお知らせメールに記載されています。

### 2.2. AI・アプリ連携の設定

設定画面の「AI・アプリ連携」の画面右側に表示された「追加」をクリックします。



## 2.2.1. 項目について

項目	設定内容
表示名(必須)	任意の名前を入力します。 ※このデータ転送設定の識別子になります。
転送条件(必須)	異なるグループに転送するキーワードを設定します。 詳しくは「2.2.2.転送条件の設定について」をご参照ください。
テキストの検索条件(必須)	転送されるテキストの検索条件を「前方一致」または「部分一致」で設定できます。詳しくは「2.2.3.テキストの検索条件の設定について」をご参照ください。
転送するトークグループ ID(必須)	転送先のグループのグループ ID を設定します。 詳しくは「2.2.2.転送条件の設定について」をご参照ください。
区切り文字(任意)	「転送条件」と「転送するトークグループ ID」の区切り文字を変更できます。デフォルトは「,(カンマ)」です。 転送条件に「,」を含む際は、区切り文字を変更してください。
転送メッセージテンプレート(任意)	転送時のメッセージにテンプレートを設定することができます。 詳しくは「2.2.5.転送メッセージテンプレートの設定について」をご参照ください。

例えば、「お客様カウンター」グループに対して、「@カウンター」から始まるテキストと、「SOUND:1」を転送したい場合は、以下のように設定します。また、転送テンプレートとして、転送文の先頭に「転送メッセージです:」が送信されます。

## 2.2.2. 転送条件の設定について

転送するデータ毎に下表のように設定をします。

転送データ	設定方法
テキスト	転送したいテキストの先頭文字を指定します。 例えば「@カウンター」と設定した場合、「@カウンター・・・」とテキストを入力して送信すると転送先のグループに転送されます。 前方一致を選択すると「・・・@カウンター」のように文中にキーワードを含めてもテキストデータは転送されません。
サウンド	Buddycom アプリにて送信可能なサウンドは 2 種類です。 「ピンポン 1」を転送する場合は「SOUND:1」と指定します。 「ピンポン 2」を転送する場合は「SOUND:2」と指定します。 どちらも転送する場合は「SOUND」と指定します。
アラート	Buddycom アプリにて送信可能なアラートは 3 種類です。 「アラート 1」を転送する場合は「ALERT:1」と指定します。 「アラート 2」を転送する場合は「ALERT:2」と指定します。 「アラート 3」を転送する場合は「ALERT:3」と指定します。 すべて転送する場合は「ALERT」と指定します。
メロディースタンプ	メロディースタンプを転送する場合は、「MML」と指定します。 特定のメロディースタンプのみを転送する場合は、「MML:メロディースタンプのタイトルなど」を指定します。 例えば、「"Kanon",t95o7d8・・・」という内容のメロディースタンプを転送する場合は「MML: "Kanon"」と指定します。

転送条件を複数指定する場合は、「@カウンター, SOUND:1」のようにキーワードを区切り文字(デフォルトは「,」)で区切って入力します。

キーワードは先頭から 10 個目までが有効です。

11 個目以降は設定をしても転送条件として認識されません。

## 2.2.3. テキストの検索条件の設定について

転送されるテキストの検索条件を「前方一致」または「部分一致」で設定します。

前方一致：設定した単語で始まるテキストのみ転送します。

部分一致：前方一致のケースも含めて、設定した単語が含まれているすべてのテキストを転送します。

## 2.2.4. 転送するトークグループ ID の設定について

グループ ID とは、グループを識別する固有の ID です。

転送するグループの「グループ ID」は、ユーザー & グループ画面のグループ情報の「グループ ID」にて確認ができます。



転送先に複数のグループを指定する場合は、「お客様カウンター,警備室」のようにグループ ID を区切り文字(デフォルトは「,」)で区切って入力します。

キーワードは先頭から 5 個目までが有効です。

6 個目以降は設定をしても転送条件として認識されません。



## 2.2.5. 転送メッセージテンプレートの設定について

転送時のメッセージにテンプレートを設定することができます。例えば「転送テンプレート:」と入力すると、転送文の先頭に「転送テンプレート:・・・」という 固定の内容が先頭に付きます。

転送メッセージに設定した「1F スタッフからの転送」が転送先のグループの CHAT の先頭について転送されます。



また、「\${SENDERGROUP}」を使用し、転送元グループ名を転送メッセージテンプレートに含めることができます。例えば、転送メッセージテンプレートに「転送元:\${SENDERGROUP}」と設定し、「グループ A」から転送された場合、「転送元:グループ A・・・」というテキストが転送文の先頭に付きます。

## 2.3. グループへの割り当て

データの転送元となるグループに先ほど設定をした AI・アプリ連携のアイテムを割り当てます。

グループへの割り当て方法には、「グループの編集画面」、「AI・アプリ連携画面」の2つの方法があります。

### 2.3.1. グループの編集画面から割り当て

ユーザー & グループ画面にてデータ転送設定をするグループを選択し、AI・アプリタブの「AI・アプリの追加」をクリックします。

The screenshot shows the Buddycom Console interface. The top navigation bar includes 'buddycom Console' and the user 'admin@sample'. The main menu on the left lists various management functions. The central area is titled 'ユーザー & グループ' (Users & Groups) and contains tabs for '階層の作成' (Create Hierarchy), 'ユーザーの作成' (Create User), and 'グループの作成' (Create Group). Below these tabs is a search bar and a list of groups. The '1Fスタッフ' group is selected. On the right, the 'AI・アプリ' (AI Applications) tab is active, showing a table with columns for 'グループ情報' (Group Information), '参加できるユーザー' (Users who can participate), and 'AI・アプリ' (AI Applications). A red box highlights the '+ AI・アプリの追加' (Add AI Application) button.

AI・アプリの追加画面にて先ほど設定をしたデータ転送設定を選択し、「保存する」をクリックします。

The screenshot shows the 'AI・アプリの追加' (Add AI Application) dialog box. The title is 'AI・アプリの追加'. Below the title is a section for 'AI・アプリ選択' (Select AI Application) with a '全て削除' (Delete All) button. Two options are listed: 'お客様カウンター転送' (Customer Counter Transfer) and '警備室転送' (Security Room Transfer). The 'お客様カウンター転送' option is selected and highlighted. At the bottom right, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '保存する' (Save).

これで設定は完了です。

### 2.3.2.AI・アプリ連携画面から割り当て

設定画面にてAI・アプリ連携をクリックし、データの転送元となるグループの設定を行うデータ転送設定の「割り当て」をクリックします。



選択したデータ転送設定の割り当て画面にて、データの転送元となるグループを選択し、「保存する」をクリックします。



これで設定は完了です。

### 3. 制限事項/注意事項

- ・企業間通信では利用できません。

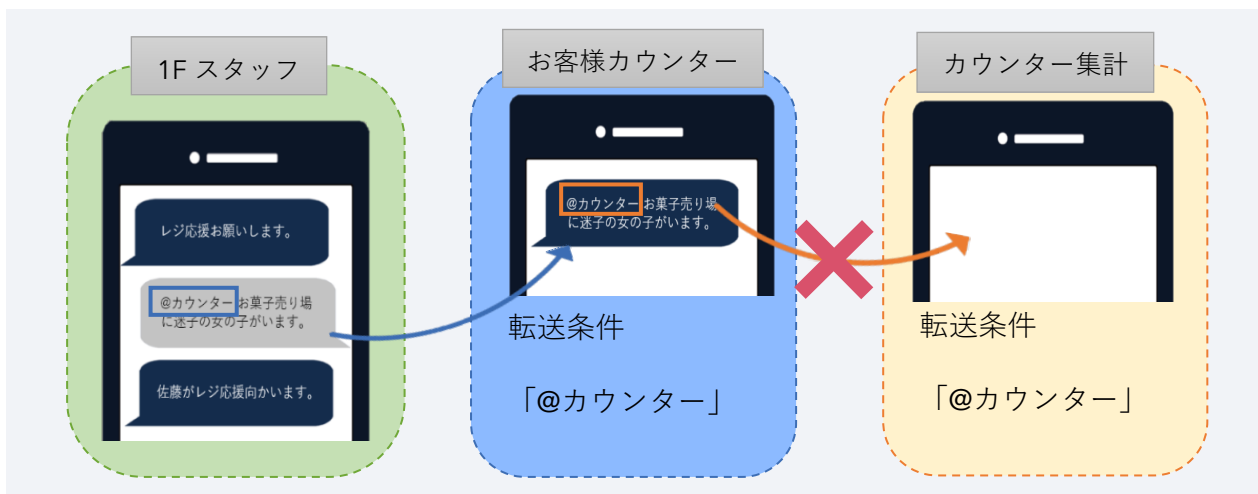
(テナント A のグループから、テナント B のグループに対してデータ転送はできません。)

- ・転送条件に、置き換え文字は利用できません。

置き換え文字とは、定型文の読み上げ文に設定すると、送信時に自動または手動で内容を置き換えることができる文字です。これらの置き換え文字は、テキスト送信時に転送条件のキーワードと異なる文字に置き換えられて送信されるため転送条件として利用できません。

置き換え文字	置き換える内容
\${DISPLAYNAME}	ユーザー表示名
\${GROUPNAME}	「聞く」を設定中のグループ表示名
\${USERNAME}	ユーザー名(ログイン時のユーザーID)
\${TODAY}	送信時の年月日
\${NOW}	送信時の時刻
\${TEXT}	入力した任意のテキスト
\${DATE}	選択した日付
\${TIME}	選択した時間
\${DATETIME}	選択した日付と時間
\${NUMBER}	入力した任意の数字

- ・異なるグループから転送されたデータは、データ転送条件に一致していても再転送はできません。



- ・転送先に指定されたグループに、グループ内の通話を受信している状態のユーザーがいない場合は、データ転送は実行されません。

※グループ内の通話を受信しているユーザーがいなくなっても、5分間はデータ転送が実行されます。